



大吟醸ならではのほのかな甘い香り、柔らかくすっきりとした飲みやすさに、米の力強い味わいが重なる。純米大吟醸酒「九州大吟醸」。

ネーミングの由来は「九州大」と「大吟醸」の語呂合わせだ。九州大学院助手の佐藤剛史(32)が代表理事を務める非営利組織(NPO)「環境創造舎」と浜地酒造(福岡市)が里山の保全を目的に共同で作った。

伊都キャンパス(福岡市西 十万人を見込んでいます。木を育てる費用に充てまを雇う人件費もここから出のため、木や土壌を丸ごと区)周辺の森を守るために のごきりなどの道具や、苗 す。専属の学生アルバイト してしています。森を守る活動 移植・移転する大工事を実 行。ただ、こ 年、この活動を通して浜地 うして守った 酒造の浜地浩充常務と出会 里山も、放っ ったのがきっかけだ。

「昨年(2005年)は三十五万円程度を確保。今年は五十万円六

「九州大吟醸」は今年で二年目を迎える。昨年作った六千本は九カ月で完売。今年はさらに福岡の郷土料理に合うよう改良、倍以上の一万五千本を仕込んだ。福岡空港などで販売しており、売れ行きは順調だ。

「昨年は香り豊かなわりに、味が弱かったためバランスが取れていませんでした。それでも、上質の『しずく搾り』二千本は三カ月で、普通に搾った四千本も九カ月で売り切れました。今年は浜地酒造と相談して九州人好みのしつかりした味に仕上げました。酒造りにはのべ五十人以上の学生が参加しています」

売り上げの5%は九州大

大学発「大吟醸」で里山保全

「飲めば飲むほど緑が増える」



九州大学院助手

佐藤 剛史氏

売り上げで苗木、森を守る

「酒造りも学生の遊びではない。企業には生活がかかっている従業員もいる。その自覚が必要です。酒造りの作業体験、事業運営、地域との交流という授業では教えられる教育の場にもなっています」

九州大は二〇〇〇年、伊都キャンパスを着工。造成にあたっては森林面積維持

の原則はボランティアです。木を育てる費用に充てまを雇う人件費もここから出のため、木や土壌を丸ごと区)周辺の森を守るために のごきりなどの道具や、苗 す。専属の学生アルバイト してしています。森を守る活動 移植・移転する大工事を実 行。ただ、こ 年、この活動を通して浜地 うして守った 酒造の浜地浩充常務と出会 里山も、放っ ったのがきっかけだ。

「酒造りも学生の遊びではない。企業には生活がかかっている従業員もいる。その自覚が必要です。酒造りの作業体験、事業運営、地域との交流という授業では教えられる教育の場にもなっています」

九州大は二〇〇〇年、伊都キャンパスを着工。造成にあたっては森林面積維持

「環境を守るルールの共有化をどうやって進めるかが課題です。草刈りなどで地元との付き合いを深めていけば、文化の継承にも役立つ。無力さを感じますが、いままでも夢だと思ってい

「環境を守るルールの共有化をどうやって進めるかが課題です。草刈りなどで地元との付き合いを深めていけば、文化の継承にも役立つ。無力さを感じますが、いままでも夢だと思ってい



島観光・文化検定」。本書は文字通り受験用の参考書だが、西郷隆盛からアミノノックロウサギまで観光パンフレットにない知識を得るには格好の入門書といえる。

歴史な ど 練習問題

は練習問題も掲載している。十月一日には二回目の初級編試験が実施予定だ。

南方新社(☎099・248・5455)刊、二、〇〇〇円(税抜き)。

田植えの季節。福岡県朝倉

技術が今も生きています。

コンニチヤ

と近くのS.C.に行く」と自嘲

敬称略 (安川寛之)